

アレルギー性鼻炎に対するアルゴンプラズマ治療

えびす耳鼻科

アレルギー性鼻炎とは

アレルギー性鼻炎はダニや花粉などの原因物質（アレルゲン）を吸い込むことで鼻の中でアレルギー反応が起こり、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状を呈します。

アレルギー性鼻炎には主に鼻づまりをが強い**鼻閉型**、くしゃみや鼻汁が多い**くしゃみ鼻汁型**、すべての症状をもつ**充全型**の3タイプがあります。

アレルギーは生まれつきの体質に起因するもので完全に治すことは困難です。アルゴンプラズマ治療も含め万能な治療はないことをまずご理解ください。

アルゴンプラズマ凝固（APC）とは

薬を使用してもなかなか効果が得られない、今後妊娠する予定がある、忙しくて定期通院できない、長期の内服に不安を感じている方などに当院ではアルゴンプラズマ凝固法（APC）をお勧めします。

APCは高周波電気を鼻粘膜に接触させずに鼻粘膜のごく表面、0.3mmの深さまでを凝固させる装置です。その特徴としてイオン化されたアルゴンガスの流れを用いて抵抗の少ない場所に電気を集中させるため痛みが軽く、必要以上の焼きすぎを防ぐことが出来ます。

凝固された鼻粘膜はアレルギー反応が起こりにくくなり、鼻炎の症状を軽くします。

特に鼻づまりに対しては有効です。また、APCの治療は複数回繰り返すことも可能ですので症状がぶり返して来たら再度行う事も出来ます。

実際のAPC療法の流れ

1. まず、麻酔液を含んだガーゼを鼻の中に30分ほどおきます（15分ごとに交換）。この際、のどに麻酔液が流れてのどがつまったような感じ、或いは動悸がする場合がありますが麻酔終了後15-30分ほどで自然に消失します。ただし気分が悪くなるようでしたら声をかけてください
2. 麻酔終了後APCを行います。処置中、歯に電流の流れるような痺れ感、痛みを感じる場合がありますので、あらかじめガーゼを噛んでもらいます。最初は体がびくっと勝手に動いたり、ビリっとする感じがあります。ビームで下鼻甲介のみを凝固し両方で約5-10分ほどで終了です。
*痛みが強く、我慢できないときはまず①出力を弱めて再度照射してみます。それでも痛みが強くAPCは耐えられないと判断した場合は他の方法を提案いたします。

2. 治療後は念のため、しばらく院内で休んでいただき出血などの問題がなければ帰宅となります。

治療後の注意事項

・治療後、約1週間ときどき鼻血が出る場合がありますが大量に出ることはありません、次第におさまってきます。

・3-4週間は鼻の中にかさぶたが付くため、治療前より鼻詰まりがひどくなる場合があります。時間

と共にかさぶたは少なくなり次第に改善してきます。落ち着くまでは1-2週間に1回程度通院していただき鼻の処置を行います。粘膜が正常に再生したら通院は終了となります。

・術後は毎日鼻洗浄をお勧めします。鼻洗浄することで不要なかさぶたを洗い流し、すっきりします。通院回数を減らし、感染や粘膜の再生を促す目的です。

*鼻洗浄器に関しては当院で販売しておりますので希望がある方は受付まで申し出てください。

・治療後2～3日は激しい運動はひかえていただきますが、軽い入浴や事務仕事などは当日より可能です。

注) 以下の方はAPC治療が出来ません

- ・鼻中隔彎曲の強い方
- ・痛み、怖がり
- ・抗凝固薬、抗血小板薬など血液をサラサラにする薬を飲んでいる方（ワーファリン、ブラピックス、プレタールなど）
- ・血が止まりにくい病気を持っている方
- ・妊娠中
- ・ペースメーカー挿入中の方
- ・小学生以下

APCのリスク

- ・術中術後の痛み
- ・術後の鼻出血（大量に出ることはほとんどありません）
- ・術後の鼻内の癒着（下甲介と鼻中隔がAPC後の治癒過程でくっついてしまうことがあります。そのいった場合は鼻づまりが悪化してしまう可能性があるのでくっついた部分を切る、はがすなどの処置が必要になります）

最後に)

年齢が若いほど半年から1年ほどで症状が徐々に元に戻る場合もあります。また鼻水やくしゃみに対しては年齢を問わず半年から1年ほどで症状がぶり返す場合が多くみられます。

APCはアレルギー性鼻炎を完全に治す治療ではありません。あくまで対症療法の一つととらえて下さい。

以上をよく読んで納得された上で手術を受けて下さい。

治療は要予約となっています。

希望がある方は**098-987-0033**までお電話ください